

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2023. 03第82号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

暖かい日もあり少しずつ春の気配を感じられるようになり、来年度の準備に向け動き始める時期にもなりました。さて、図書館では今年度最後のイベントを開催します。本館では、『好きな表紙を、自分で作る「読書通帳」製本教室』。分館では、『「かくれんぼ絵本」をつくろう』。どちらも世界にひとつだけの作品です。詳細は館内ポスターやホームページをご覧ください。



3月のイベントカレンダー



<https://www.library-mizuho-gifu.jp>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ＜分館＞ 「かくれんぼ 絵本」を つくろう	4 ＜分館＞ おはなしの会
5	6 休館日	7	8	9	10 ＜本館＞ 未就園児向け おはなしの会	11 ＜分館＞ おはなしの会
12	13 休館日	14	15	16	17	18 ＜分館＞ おはなしの会 ＜本館＞ 「読書通帳」 製本教室
19 ＜本館＞ 映画鑑賞会	20 休館日	21	22	23	24 ＜分館＞ 未就園児向け おはなしの会	25 ＜分館＞ おはなしの会
26	27 休館日	28	29	30	31 休館日	



「おはなしの会」
「未就園児向けおはなしの会」
「映画鑑賞会」

【分館】 毎週土曜日 14:30～ 絵本フロア
【本館】 第2金曜日 10:30～ 2階・学習室
【分館】 第4金曜日 10:30～ 絵本フロア
【本館】 第3日曜日 14:00～ 2階・学習室 定員20名



『南極の食卓』

本館所蔵

渡貫 淳子//著 <297.9/ワ>

南極にある昭和基地。ここには南極地域観測隊が2年間の任務遂行のため滞在しています。著者は、この昭和基地の調理隊員として南極に渡りました。その仕事は、出発前の食糧の調達に始まり、毎日の調理、備蓄食料の管理、ごみの始末など多岐にわたります。様々な写真とともに、知られざる昭和基地の裏側がのぞける1冊です。



『うたのかいせつずかん』

両館所蔵

野口 義修//監修 ライトスタッフ//編 <児/767/ウ>

「森のくまさん」「ドレミの歌」など、小さな頃から親しんできた童謡や唱歌。しかし聞いたことはあっても、意味までは…という方が多いのではないのでしょうか？この本では、歌詞の中で書かれていることからや、言葉の意味などを絵や写真と一緒に1曲ずつ解説しています。この本を読んだらあなたも“うた博士”になれるかも！



※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。

『きらめく拍手の音』

本館所蔵

イギル ボラ//著 <369.2/イ>

コーダという言葉をご存じですか。コーダとは、音の聞こえないろう者の両親のもとに生まれた、聞こえる子という意味。韓国で暮らす著者は、ろう者の父と共に訪れたアメリカで新たな文化と出会い、帰国後ドキュメンタリー映画の製作を決意します。複雑な思いを抱きながら生きてきた著者の葛藤が綴られたエッセイです。



『ふたごのたまごとうさぎたち』

分館所蔵

石津 ちひろ//文 福井 さとこ//絵 <E/フ>

もうすぐイースター。春のひざしの中、こうさぎのミミとルルはたまごにもようを描いています。たまごを並べてみると、まるでふたごみたい！ミミとルルは嬉しくなって歌を歌い始めます。するとあらふしぎ！ふたごのたまごはものすごい速さで回って動き始めて…かわいいこうさぎたちと、うれしい春の訪れを祝う絵本です。



本館 テーマブック

今月のテーマ
『生誕 100 年
司馬遼太郎の世界』



歴史小説や紀行文などで知られる司馬遼太郎は、1923 年 8 月大阪市で誕生。その作品は、歴史の新しい視点と斬新な描写で、多くの人に親しまれてきました。今年生誕 100 年を迎えるにあたり、歴史小説や紀行文、エッセイ、対談集などの作品を展示します。司馬遼太郎記念財団によるアンケート「好きな司馬作品」のランキング本も紹介していますので、この機会に司馬作品を読んでみませんか。



長編小説

「好きな司馬作品」1 位

『坂の上の雲』(全 6 巻)
司馬 遼太郎 // 著
<913.6/シ>



紀行・エッセイ・
対談・評論など

『司馬遼太郎が考えたこと』
(全 15 巻)
司馬 遼太郎 // 著
<914.6/>シ



両館所蔵

短編小説

『美濃浪人』
司馬 遼太郎 // 著
<913.6/シ>



司馬遼太郎や
作品に関する本

『「司馬遼太郎」で学ぶ日本史』
磯田 道史 // 著
<910.2/イ>

※『坂の上の雲』以外は本館所蔵

分館 テーマブック

今月のテーマ
『入園・入学 ともだちの本
もうすぐ春の本』



『ドキドキ! おばけのにゅうがくしき』

大木 あきこ // ぶん え <E/オ> 分館所蔵

おばけのぺろは、きょうから 1 ねんせい。でもとってもこわがりです。「おばけがいっぱい・・・こわいよ～! ママ、いっしょにきてよ～」ドキドキブルブル、ママとわかれて、きょうしつにはいると、おばけのこどもたちがいっぱいいます。さあぺろは、みんなといっしょに、にゅうがくしきができるかな。

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA 向け おすすめの本



『鉄のしづきがはねる』

本館所蔵

まはら 三桃 // 著 <児/913/マ>

みさとしん
三郷心は北九州工業高校電子機械科唯一の女子生徒。ある日「ものづくり研究会」の文化祭の手伝いを頼まれ、鉄のサイコロ作りのために切削を続けます。祖父の金属工場が倒産したことで鉄と距離をとっていた彼女でしたが、冷たく熱い鉄の塊に触れるうちに旋盤の魅力にはまっていくのでした。

ひとつひとつの困難を乗り越えながら、「高校生ものづくりコンテスト」に挑む女子高生の工業系スポ根青春物語です。



『最新ネットのキーワード図鑑』

分館所蔵

島袋 コウ // 監修 <547.4/サ>

インターネットが身近になった昨今、生活が便利になった一方で今までにはなかったネット上での危険も増えています。炎上、スパチャ、フィッシング、無断転載など最新のネットに関する知識を身につければ、避けることのできるトラブルは多くあります。ゲームや SNS など安全に楽しく使えるよう、ネットリテラシーを身につけるための助けとなる 1 冊です。

春の訪れ

3 月 21 日は春分の日。まだ少し肌寒い日もありますが、春を感じ取れる季節になりました。春といえば、桜。けれど、桜以外にも、春の訪れを教えてくれる草花が、まわりにはどんどん増えています。ナズナやシロツメクサ、レンゲなどなど。図書館では、そんな身近な植物を紹介してくれる本もありますよ。



『美しい小さな雑草の花図鑑』
<470/オ> 本館所蔵



『散歩でよく見る花図鑑』
<470/カ> 本館所蔵



『親子で観察する
身近な雑草図鑑』
<470.3/ア> 本館所蔵



『身近な草花 300 街中』
<470.3/カ> 本館所蔵